令和７年度都立国際高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	文章内容を的確に読み取り、その内容について自分の考えを述べることができる力を養う。	・年間指導計画にもとづいて計画的に指導を行い、適切な学習評価を指導の改善に活かす。 ・文章を読んで要約する学習や、本文や資料を引用しながら自分の考えを述べる活動を積極的に行う。	・言語に対する理解を深め、伸ばした言語力を他教科の学習でも活かすことができるようにする。 ・幅広いテーマの文章について読解する力を伸ばす。
地理歴史・公民	社会的に様々な課題に関し、多角的かつ多面的に考察するとともに、議論する力を養う。	・様々な情報を調査や諸資料から適切かつ効果的に探究し、自分の意見として表明する技能を養う。	・事実を基に概念などを活用し、地理や歴史、現代の諸課題について、主体的に考察や議論する力を養う。
数学	授業方法を工夫し、多面的に数学を捉えられるような学習活動と教員間の共有の徹底。	・ICTによる様々な活動やグループ学習、エキスパート学習等を実践する。 ・日常にあふれる題材を適切に選び授業に活用していき、検証していく。 ・論理的思考育成を念頭に置く。	授業デザインを改めて見直し、目標設定や振り返り方法など生徒に向けてのアプローチを模索していく。
理科	科学的に探究しようとする態度と力を養う学習活動の充実。	・科学に関する文献を読んだり、体験活動に参加したりする機会を提供する。 ・授業内で日常生活や他教科での学びと関連付けて考察する問いや課題を設定する。	・探究の技術を身に付け、自身の意見を科学的な根拠に基づいて発表し、意見交換を行う。
保健体育	「生涯を通じた健康」に繋がる学習・実習の充実。	＜体育＞基礎体力の向上をベースに、数多くの運動の実施と、その種目の特性に適した課題（記録・技能・個人の役割等）の設定を行う。 ＜保健＞「健康」に関する内容を多く取り上げ、自分の健康は自分で確立する考え方と実践方法について深く取り組む内容を設定する。	・「健康」についての意識を高め、自らの生活や社会の問題点を見出し、改善の方策や今後自分たちは何をすべきかを考えさせ、未来の自分達の生活・人生や社会に生かせる力を養う。
芸術	表現の多様性を知り尊重する指導の充実。	・様々な表現や素材を扱い、バランスを考えたカリキュラムの充実。 ・問題意識を持ち、計画性を考え取組む指導の充実。	・発表、プレゼン、講評から自己の表現の考察を深め、他者の表現を尊重する態度の育成を目指した授業の実施。 ・進行状況の確認の実施。
外国語	４技能を向上させる指導の充実。	・４月に２・３学年対象TOEIC L&Rテストの校内受験。 ・１２月に２学年対象TOEIC S&W受験。 ・３月に1学年対象ケンブリッジ英検受験。 ・オンライン英会話の実施。 ・教科全体で指導充実に向け週１回の教科会、月１回の科目打ち合わせの実施。	・CEFR　B2B1レベルの生徒層を増やす学習指導。 ・東京都大会・全国大会を見据えた校内スピーチコンテストの実施。 ・生徒の多様な進路実現を支援するための講習の実施。

家庭	・実践的・体験的な学習活動、問題解決的な学習活動の充実 ・ICTを活用	・知識や技術を生活と結び付けながら取り上げる。 ・レポートの考察は、「根拠」を意識させる。 ・課題や振り返りにICTを活用する。	・各種コンクールに参加し、授業の成果を発表。 ・プレゼンテーションやディスカッションから考察を深め、多文化共生社会の一員としての自覚を高める。
情報	情報社会に主体的に参画する知識・技能を養う。	・PC室のコンピュータと個人のスクールタブレット、スマートフォンの理解を深め、基本スキルとアプリの活用方法を習得する。 ・問題の発見、解決に向けて効果的に活用する力をつける。	・TeamsとOneDriveの効果的な活用について理解を深める。 ・共通テスト対策を行う。